

持続可能な社会のために、私たちセルフ社は
2030年に向けて
小さな事でも継続して取組ます

そして取組を継続する上で重要なことは
「1人の100歩より、100人の1歩を」を目指します。

認知度向上のためにもセルフ社員が色々な方法で活動を発信していきます。



セルフ社の取組状況

目標5「ジェンダー平等を実現しよう」

日本でもジェンダー平等が叫ばれていますが、日本のジェンダー・ギャップ指数は153か国中121位であり、世界基準で見ると、日本はまだ男女の差別が激しく、男女の賃金の違いや女性の労働環境など、見直すべき点は多い。

セルフ社は賃金格差「0」、社員数15名の内、約半数の7名が女性社員を採用しており、更には管理職2名の内1名が女性管理者を配置しています。また、社内におけるハラスメント（セクハラ/パワハラ等）も絶対に発生させない一人一人が意識を持って日々の行動を実施しています。



目標7「エネルギーをみんなに そしてクリーンに」

電気エネルギーの節約に向けた取組。

セルフ社は自社開発LED蛍光灯を事務所の全部屋に導入しエネルギー使用量の削減にも貢献しています。また、本商品はNTT社様が制定した「通信機械室内に設置される照明器具から発生する妨害波に関するテクニカルリクワイアメント」第174001号第2版規定の測定に合格した商品であり、NTT社様の通信機械室にも導入させて頂いております。



セルフ社の取組状況

目標7「エネルギーをみんなに そしてクリーンに」

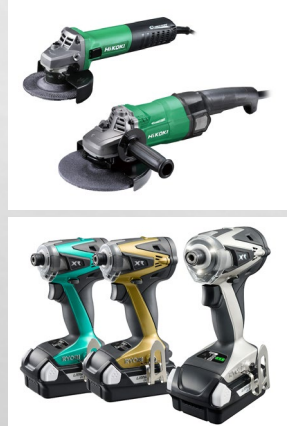
車通勤をやめて公共交通機関をつかった通勤に切り替えたり、更なる貢献として、自転車や徒歩での通勤が挙げられるでしょう。

セルフ社はすでに電車通勤から自転車及び徒歩通勤へ社員の1/3が実施中。



職場にある電化製品やオフィス用品及び工事で使用中の電動工具もサステナブルなものに切り替え省エネ対策。

老朽化家電の冷蔵庫やオフィス用品のPC更改も実施済。
また、工事に使用している電動工具も老朽化しているものを買い替え済。



セルフ社の取組状況

目標8「働きがいも経済成長も」

基本的な雇用条件に不足がないか、また、社員が働きがいのある職場環境になっているか。そして年次有給休暇の完全取得と伴に労働者のメンタルや体調面を調整し、仕事の生産効率を高めることに繋がります。

セルフ社は有給休暇完全取得を実行しており、更には連続休暇取得による社員のリフレッシュを推進しています。

【工事部】 年間3回は9連続休暇取得

【営業事務部】 年間3回は5連続休暇取得

※有給は時間単位で取得可能で社員が都合良く取得。



目標14「海の豊かさを守ろう」

買い物には“エコバッグ”を持っていくことでレジ袋の消費を減らす事が実現できます。そしてプラスチックごみを減らすことで、ごみが流れ着く海を守る事にも繋がります。

セルフ社はオリジナルエコバックを制作して全社員に配布すると共に、家族にも活用して貰う事を推進しています。また、お客様にも年末ご挨拶時にカレンダーと一緒にオリジナルエコバックを渡しています。



セルフ社の取組状況

目標13「気候変動に具体的な対策を」

目標14「海の豊かさを守ろう」

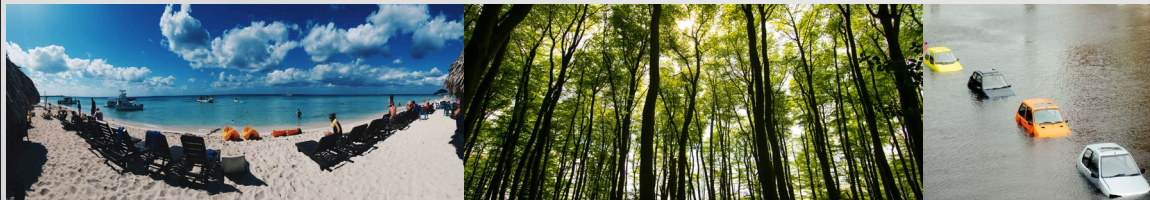
目標15「陸の豊かさも守ろう」

名刺をつくるには、紙（木）と水が必要です。1箱分の名刺をつくるのに水を10リットル使用し、各種液体使用による水質汚染にも繋がっています。また、紙も必要なため森林伐採による紙製造にも関連します。木と水を使わない名刺製法のLIMEX(ライメックス)があることを知り、名刺作成はLIMEX(ライメックス)に変更。

素材：石灰石から作られた、環境に優しく水に強い新素材

セルフ社はLIMEXに変更したことで水の使用を無くすことで目標14「海の豊かさを守ろう」に貢献。また、紙を使用しない事で目標15「陸の豊かさも守ろう」に貢献。

そしてLIMEXの利用者が増えることで、紙やプラスチックの使用量が減り、目標13「気候変動に具体的な対策を」にもつながります。



ムダな印刷はやめる。必要のない印刷は紙をムダにすると伴に森林伐採による破壊にも繋がります。

セルフ社は説明資料の印刷は止めてタブレットやノートPCを活用して説明実施に切り替えました。また、承認サインも電子化を実施済。これにより紙の節約と伴に森林の破壊を防ぐことで目標15「陸の豊かさも守ろう」に貢献。目標13「気候変動に具体的な対策を」にもつながります。

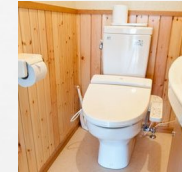


セルフ社の取組状況

小さな項目

- ・トイレの便器の蓋は使用后、必ず閉める。

蓋が開いていると便座を温める電気が発生しているので、蓋を閉めて節電します。



- ・ゴミの分別「ノーインパクト（地球への影響ゼロ）週間」

毎月の第二週目は（1週間だけ）小さなゴミも「燃えるゴミ・プラゴミ」に分別して捨てる事を実施中
ゴミ分別は「缶・ビン・燃えるゴミ・燃えないゴミ・資源ゴミ・ペットボトル」実施中



- ・請求書/領収書及び支払いはオンライン実施

請求書/領収書及び支払い証明書等は全て紙減らしによりオンラインにて実施中



海を汚しているペットボトルやプラスチックごみについて

海辺で出されたプラスチックごみ

1/3

正しく処分されず

さらに
1/3

海へ流出

(ペットボトルで換算すると9本に1本が流出)

海に流されたごみが自然に減るまでの時間



ペーパータオル

2~4週間



レジ袋

1~20年



発泡スチロールトレイ

50年



ペットボトル

400年

このままの状態が**2050**年まで
続いたとすると海の中は

魚 < **プラスチックごみ**

